

令和5年度 事業報告書



社会福祉法人 鳳雄会

目次

I 法人本部	1
1. 事業報告	1
2. 理事会開催状況	1
3. 評議員会開催状況	2
4. 評議員選任解任委員会開催状況	2
5. 従業員の状況	2
II エンジェルホーム	4
1. 事業報告	4
2. 施設利用状況実績報告	5
3. 研修報告	6
4. 行事報告	7
5. その他報告事項	7
III ほうゆう・キッズホーム	8
1. 事業報告	8
2. 施設利用状況実績報告	9
3. 研修報告	10
4. 行事報告	12
5. その他報告事項	13
IV 子ども未来サポートセンターほうゆう	14
1. 事業実績報告	14
2. 事業実績報告集計表	15
V ほうゆうの里	16
1. 事業報告	16
2. 施設利用状況実績報告	19
3. 研修報告	20
4. 行事報告	20
5. その他報告事項	20

VI	ほうゆうベビーホーム	21
	1. 事業報告	21
	2. 施設利用状況実績報告	22
	3. 研修報告	23
	4. 行事報告	24
	5. その他報告事項	24
VII	子ども未来サポートセンターやちよ	25
	1. 事業実績報告	25
	2. 事業実績報告集計表	26
VIII	ゆうゆう保育園	27
	1. 事業報告	27
	2. 施設利用状況実績報告	28
	3. 研修報告	29
	4. 行事報告	29
	5. その他報告事項	30
IX	ゆうゆう苑	31
	1. 事業報告	31
	2. 施設利用状況実績報告	33
	3. 研修報告	34
	4. 行事報告	34
	5. その他報告事項	34
X	ゆめ	35
	1. 事業報告	35
	2. 施設利用状況実績報告	35
	3. 研修報告	36

I. 法人本部

1. 事業報告

地域社会、社会福祉施設など厳しい状況が続いているなか、社会福祉法人としての役割を果たせる法人経営に取り組んでまいりました。

持続可能な運営を心掛けた展開として、太陽光発電設備を設置し稼働しました。また、公益事業として訪問看護ステーションの事業を始め、地域共生社会の実現に向けた展開、多機能型な施設運営を進めてきました。

社会全体に言えることですが、物価高騰、水道光熱費の大幅な増額が続き各施設運営も厳しいなか人材確保においては、極めて困難です。外国人の雇用を進めてきたなかで介護福祉士資格の取れた外国人職員も増え喜ばしい出来事でした。

生産年齢人口が減少したことによる人材確保の困難と思われませんが、そのことによる施設運営の厳しさが増し思うような事業、活動の展開がうまくできなかったように思います。引き続き地域に密着した施設運営が出来るように法人経営に取り組んでいきたいと思いをします。

2. 理事会開催状況

開催日	出席者	議案
R5. 4. 30	理事 6 名 監事 2 名	1号議案 乳児院ほうゆうベビーホーム入札 2号議案 ゆうゆう苑空調工事
R5. 5. 27	理事 6 名 監事 1 名	1号議案 乳児院ほうゆうベビーホーム入札
R5. 6. 3	理事 6 名 監事 2 名	1号議案 令和4年度事業報告 2号議案 令和4年度決算 3号議案 任期満了に伴う役員の推薦 4号議案 随意契約 5号議案 定款変更 6号議案 評議員会の開催 7号議案 職務の執行状況の報告
R5. 6. 18	理事 6 名 監事 2 名	1号議案 理事長および業務執行理事の選任 2号議案 評議員選任解任委員の選任
R5. 7. 4	決議の省略	1号議案 乳児院ほうゆうベビーホーム小規模グループケア工事に係る一般競争入札
R5. 9. 2	理事 6 名 監事 2 名	1号議案 ほうゆうの里施設長の選任 2号議案 訪問看護ステーション「ゆめ」の設置 3号議案 諸規程の改訂

開催日	出席者	議案
R6. 3. 16	理事 6 名 監事 2 名	1号議案 令和6年度事業計画 2号議案 令和5年度補正予算 3号議案 令和6年度予算 4号議案 随意契約 5号議案 ゆうゆう苑施設長の選任 6号議案 規程の改訂 7号議案 職務の執行状況

3. 評議員会開催状況

開催日	出席者	議案
R5. 6. 18	評議員 6 名 理事 2 名	1号議案 令和4年度事業報告 2号議案 令和4年度決算 3号議案 定款の変更 4号議案 理事および監事の選任

4. 評議員選任解任委員会開催状況

開催日	出席者	議案

5. 従業員の状況

1) 法人全体雇用状況

雇用形態		人数		平均年齢	平均勤続年数
		年度初	年度末		
常勤	正職員	172	168	37.7歳	5年7ヵ月
	定年後再雇用	22	18	65.7歳	6年10ヵ月
パート		80	78	57.4歳	5年10ヵ月
全体		274	264	45.3歳	5年10ヵ月

2) 事業所別雇用状況

事業所	雇用形態	年度初	入職 (うち異動)		退職 (うち異動)		年度末
乳児院 エンジェルホーム	常勤	28	4	(1)	1		31
	パート	9			2	(1)	7
児童養護施設 ほうゆう・キッズホーム	常勤	37					37
	パート	1					1
子ども未来サポート センターほうゆう	常勤	3					3
	パート	0					0
特別養護老人ホーム ほうゆうの里	常勤	39	3		10	(1)	32
	パート	28	4	(1)	10		22
乳児院 ほうゆうベビーホーム	常勤	29	1		4		26
	パート	6	4		3		7
子ども未来サポート センターやちよ	常勤	2	1		1		2
	パート	2			1		1
ゆうゆう保育園	常勤	11	1				12
	パート	15	1		2	(1)	14
特別養護老人ホーム ゆうゆう苑	常勤	45	21		25	(1)	41
	パート	19	11	(1)	4		26
訪問看護ステーション ゆめ	常勤	0	2				2
	パート	0	1		1		0
合計	常勤	194	33	(1)	41	(2)	186
	パート	80	21	(2)	23	(2)	78
	合計	274	54	(3)	64	(4)	264

3) 育児休業取得実績

取得		人数	率	復職		人数	率
	男性	1	100%		男性	1	100%
	女性	3	100%		女性	1	100%
	全体	4	100%		全体	2	100%

II. エンジェルホーム

1. 事業報告

令和 5 年度はアセスメント力の向上に力を入れてきました。全国乳児福祉協議会が出している「乳児院におけるアセスメントガイド」を活用し、アセスメントの必要性を各職員が理解した上でアセスメントを行いました。初めは全国乳児福祉協議会が出しているアセスメントシートを活用していましたが、少しずつ形を変え当院に合せた様式作りも行いました。ケアニーズの高い児が入所する事が増えている中でアセスメントは必要不可欠である為、今後も継続してアセスメントを行っていきます。

昨年度は権利擁護委員会とリクルート係を作りました。

権利擁護委員会では権利擁護の絵本を活用しながら乳児院における権利擁護理解を深めたり、内部研修でこどもの権利条約についてロールプレイ等の実践を通して学ぶ機会を設けてきました。言葉で気持ちを表現することが難しい乳幼児期のこどもたちのアドボケイトを行うべく、権利擁護委員の活動を継続していきます。

リクルート係の活動としては見学会やジョブフェアに参加し、こどもたちと直接関わる職員から話をしたり質問に答える機会を設けてきました。令和 6 年 4 月に入職する職員の殆どが、見学会やジョブフェアに参加してくれた人で、係の活動が人材確保に繋がっていると感じました。

令和 5 年はコロナが 5 類に移行されたこともあり、以前行っていた鴨川シーワールドへのお泊り遠足やディズニーランドへの行事も再開することができました。法人の夏祭りはまだ難しいですが、エンジェルホームで夏祭りを行い、里親委託になった家族や、家庭引き取りになった家族を招待することができました。引き取り後も支援は繋げていく必要がある為、行事に招待出来た事はとても意義があったと感じています。

子育て短期支援事業の需要は高くなっています。当院のこどもたちや子育て短期支援事業を利用するこどもたちを感染から守る為に、令 5 年度から子育て短期支援事業の利用児を入所児とは別の部屋で養育するようにしました。又、一時保護児も別の部屋で観察期間を設けました。それにより子育て短期支援事業利用児や一時保護児からの感染は 1 年を通してなかったと感じています。別部屋での養育を行うには職員の人員確保も必要になります。人材確保に力を入れてきたからこそ出来ていると自負し、今後も単独での受け入れを継続できるよう取り組んでいきたいと思えます。又、当院の感染症や人数制限によりお断りしている事もありますが、地域の支援としては需要の高い事業である為、出来る限り需要に答えられるよう努めていきます。

今後も子どもたちの最善の利益の為に、職員一人ひとりが出来る事を、自ら考え行動するように取り組んでいきます。

2. 施設利用状況実績報告

1) 措置入所・一時保護委託

定員：20名

	措置入所		一時保護		合計	
	月初人数	延べ人数	月初人数	延べ人数	月初人数	延べ人数
4月	15	402	5	141	20	543
5月	14	434	3	140	17	574
6月	15	450	4	117	19	567
7月	14	405	3	133	17	538
8月	13	403	5	165	18	568
9月	13	390	5	189	18	579
10月	13	403	6	205	19	608
11月	13	390	6	204	19	594
12月	13	403	7	200	20	603
1月	13	403	5	205	18	608
2月	14	406	6	161	20	567
3月	15	454	3	102	18	556
合計	165	4,943	58	1,962	223	6,905

2) 入退所の状況

入所理由	人数	退所理由	人数
養育困難	4	家庭復帰	1
ネグレクト	1	措置変更	7
合計	5	合計	8

3) 子育て短期支援事業

ショートステイ利用延べ人数

月 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生保 ひとり親非課税	0	3	2	3	0	0	3	2	4	2	2	6	27
非課税 ひとり親課税	0	4	1	9	2	4	2	10	7	2	10	12	63
その他	0	0	3	2	3	0	2	11	9	7	7	8	52
合計	0	7	6	14	5	4	7	23	20	11	19	26	142

3. 研修報告

1) 外部研修

日程	研修内容	参加人数
R5. 6. 16	第 57 回関東ブロック乳児院研究協議会	1
R5. 7. 6～7	第 66 回全国乳児院研修会	1
R5. 10. 5～6	全国乳児院協議会	1
R5. 8	植草学園「気になる」こどもをつつみこむインクルーシブ保育(動画視聴)	1
R5. 10. 4	社会福祉施設等を対象とした感染症予防講習会	3
R5. 11. 13～14	初任職員フォローアップ研修会	3
R5. 11. 28～29	関東ブロック乳児院協議会	1
R5. 12. 11～22	社会的養護を担う児童福祉施設長研修会(動画視聴)	1
R6. 2. 27～28	第 12 回乳児院上級セミナー	1
R6. 2. 29	第 5 回乳児院医療・看護セミナー	1

2) 内部研修

日程	研修内容	参加人数
R5. 4. 7	事業計画・虐待・プライバシー	全職員
R5. 5. 8	里親支援研修「里親支援について」	全職員
R5. 6. 8	医務研修「スキンケア」	全職員
R5. 7. 10	権利擁護研修「乳児院における権利擁護」	全職員
R5. 9. 8	家庭支援研修「保護者支援とコミュニケーション」	全職員
R5. 10. 10	医務研修「S I D S」	全職員
R5. 11. 8	個別研修「気になる子の関わり方」	全職員
R5. 12. 8	栄養士研修「食物アレルギー」	全職員
R6. 1. 9	2～4 年目チーム「愛着」、7 年目チーム「不適切な養育」	全職員
R6. 2. 8	1 年目チーム「乳児院について・乳児院の役割」	全職員
R6. 3. 8	5 年目チーム「人材育成」	全職員

4. 行事報告

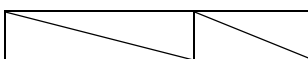
日程	行事内容	参加人数
R5. 4. 1	お花見会	18
R5. 5. 5	端午の節句	全児童
R5. 6. 30	千葉こどもの国	4
R5. 7. 7	七夕	2
R5. 7. 12	ファンタジーキッズリゾート	3
R5. 7. 25	エンジェルホーム夏祭り	全児童
R5. 8. 30	水遊び	3
R5. 8. 30	アンパンマンミュージアム	3
R5. 9. 26～27	鴨川シーワールド(お泊り)	5
R5. 9. 29	お月見	全児童
R5. 10. 10、25	お楽しみ遠足	13
R5. 10. 31	ハロウィン	全児童
R5. 11. 10、13、16	七五三	3
R5. 11. 22	ディズニーランド	3
R5. 12. 8	餅つき	14
R5. 12. 11	木下大サーカス	2
R5. 12. 22	クリスマス会	全児童
R6. 1. 1	お正月	全児童
R6. 1. 9	初詣	9
R6. 1. 16	キッズユーエスランド	2
R6. 1. 27	しまじろうコンサート	4
R6. 2. 3	節分	全児童
R6. 2. 16	アンパンマンミュージアム	4
R6. 3. 3	桃の節句	全児童
R6. 3. 12	アンパンマンミュージアム	4

5. その他報告事項

1) 施設実習受入実績

保育実習	24人
里親実習	18人

2) ボランティア実績



3) 広報誌発行実績

4月 (No.58)
8月 (No.59)
1月 (No.60)

Ⅲ. ほうゆう・キッズホーム

1. 事業報告

令和 5 年度、新規職員の採用に伴い里親支援専門相談員と自立支援担当職員の配置が叶い新年度を迎える準備を整えましたが、年度末に新規採用の職員 1 名が入職を辞退。その為、職員を 1 名欠いてのスタートとなりました。中途採用の募集を出しても保育士不足が叫ばれる現在、結果一年間埋めることが叶いませんでした。ただ、SNS を活用した求人募集や早い時期からの就職説明会は新規職員確保に一定の効果が見られたと思われ、引き続き「施設職員人材確保及び施設の取り組み」に力を入れていきたいと思えます。

また、里親支援専門相談員と自立支援担当職員を配置した事で、当施設から里親委託を 1 件。子どもの自立に向けた新たな取り組みとして、企業によるお仕事紹介のイベントや企業見学などが実現し、社会的養護を知って頂く機会とともに子ども達にとっても社会を知る機会にもなったと感じています。

子ども達の入退所状況では、令和 5 年度の 1 年間に 6 名入所し、6 名退所しております。退所後の生活拠点は 2 名が家庭復帰、1 名が里親宅への措置変更、3 名が社会への自立です。令和 5 年度より法律上 18 歳で成人となり、様々な手続き等は本人が行なう事になりますが、まだまだ支援が必要な子ども達である為、自立支援対応職員の役割は非常に大きなものと考えております。

令和 5 年度は当施設で初めての男性による育児休暇を実施しております。

令和 5 年度の事業計画に掲げた報告は以下の通りとなります。

1) 施設の機能強化推進に向けた取り組み

ショートステイ担当を各ホーム 1 名ずつ決め、専門職員と協力しショートステイの受け入れに尽力しました。職員の欠員が発生している中、入所児童の養育対応との両立は宿直回数に影響しないよう計らう必要がある為、十分とは言えませんでした。例年よりも多く受け入れることが出来たと思っています。

リービングケアとしての自立支援では、民間企業の協力のもと、施設内でお仕事紹介イベントを開催。多くの企業に参加いただき、子ども達に仕事の内容や必要な資格、どうすればその職に就く事が出来るのかなどを個別に聞ける場を設けました。また、千葉市内に本社を構えているアパレル会社の職場見学を子ども達に体験させてもらいました。年度末に施設を退所し、自立する子どもへは生活する上での金銭管理のレクチャーを企業の協力のもと実施する事が出来ました。

アフターケアに関しては、自立支援担当職員を配置し中心的役割が担えた事で、入所児童を担当している職員への負担の軽減にも繋がり、退所児童の金銭管理への助言や各種手続き、行政機関との協働など退所者への支援も充足する事が出来ました。

2) 施設職員人材確保及び施設の取り組み

NPO 法人が運営する社会的養護施設の専門サイトを活用し、施設の活動や就活情報を発信。千葉県外の保育士養成校に通っている学生にも施設の情報を提供するよう努めました。また、昨年度に引き続き、早い時期からの施設見学・就職説明会と採用試験を行なった事で、早い時点で人材の確保に繋げることが出来ました。ただ、年々学生数が減少している実態がある為、今後の人材確保にも工夫が必要と感じています。

3) 専門性の向上

対面による外部研修の再開と、これまで新型コロナの影響で実施されていなかった研修が再開されたことで、十分に研修を受けられなかった職員を積極的に参画させることが出来ました。また、千葉県児童福祉施設協議会が運営する委員会へも職員が参加し、他施設の取り組みや社会低養護下の子ども達の現状を知る機会にもなりました。

2. 施設利用状況実績報告

1) 措置入所・一時保護委託

定員：本体施設 38 人 / 地域小規模 6 人 2 ヲ所

	措置入所		一時保護		合計		地域小規模東棟		地域小規模西棟	
	月初	延べ	月初	延べ	月初	延べ	月初	延べ	月初	延べ
4 月	32	931	2	60	34	991	6	180	6	180
5 月	31	961	2	62	33	1,023	6	186	6	186
6 月	34	999	2	60	36	1,059	6	180	6	180
7 月	33	1,036	2	36	35	1,072	6	186	6	186
8 月	34	1,054	1	31	35	1,085	6	186	6	186
9 月	34	1,004	1	28	35	1,032	6	180	6	180
10 月	33	1,023	0	0	33	1,023	6	186	6	186
11 月	33	1,006	0	0	33	1,006	6	180	6	180
12 月	32	992	0	0	32	992	6	186	6	186
1 月	32	992	0	12	32	1,004	6	186	6	186
2 月	35	1,015	0	28	35	1,043	6	174	6	174
3 月	35	1,068	1	31	36	1,099	6	186	6	161
合計	398	12,081	11	348	409	12,429	72	2,196	72	2,171

2) 入退所の状況

入所理由	人数	退所理由	人数
養育困難	1	家庭復帰	4
ネグレクト	2	措置変更	1
身体的虐待	3	自立	3
心理的虐待	1		
合計	7	合計	8

3) 子育て短期支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ショートステイ	13	7	10	17	0	5	6	6	6	6	7	9	92
休日預かり	6	9	3	6	5	4	2	2	0	2	2	2	43
合計	19	16	13	23	5	9	8	8	6	8	9	11	135

3. 研修報告

1) 外部研修

日程	研修内容	人数
R5. 5. 8 他全 5 日	DV・児童虐待相談新任職員研修	6
R5. 5. 12	社会的養護施設から進学するための資金戦略	1
R5. 5. 18 他全 5 日	児童養護施設指導者研修	3
R5. 5. 20~22 11. 18~11. 20	SBI 児童養護施設職員研修	2
R5. 5. 22	千児協合同研修会	2
R5. 5. 29 5. 30	千児協初任職員研修会	4
R5. 6. 11 6. 12	全国春季セミナー	1
R5. 7. 7	関東ブロック児童養護施設研究協議会	3
R5. 7. 13	児童福祉施設心理担当職員合同研修	1
R5. 7. 14	アレルギー疾患対策研修会	2
R5. 9. 6 9. 7	ファミリーソーシャルワーク研修	1
R5. 9. 26	千児協中堅職員研修	2
R5. 10. 02 R6. 3. 1	フォスタリング里親養育包括支援機関人材育成プログラム	2
R5. 10. 4	施設等の集団における感染症対策	1
R5. 10. 11 10. 12	関東ブロック児童養護施設職員研修	4
R5. 10. 14	千葉県里親大会	1
R5. 10. 22	知って欲しい社会的養護の子ども達の事	1
R5. 10. 29	子どもとの関わり方	1
R5. 11. 02	かかわりの中のトラウマインフォームドケア	1

日程	研修内容	人数
R5. 11. 6~11. 8	全国児童養護施設長研究協議会	1
R5. 11. 12	社会的養護のもとにいる乳児院の理解と支援	1
R5. 11. 13 11. 14	初任職員研修会フォローアップ	4
R5. 11. 20 全4回	児童福祉に関する法的対応研修	7
R5. 11. 28	全国退所児童支援事業連絡会オンラインサロン	1
R6. 11. 30	社会的養育における自立支援と退所後ケア	1
R5. 12. 7	生活の中のライフストーリーワーク	1
R5. 12. 11 12. 12	社会的養護を担う児童福祉施設長研修会	1
R6. 1. 18 1. 19	全国青少年相談研究集会	1
R6. 1. 19	教育・保育事故の予防に向けたセミナー	1
R6. 1. 22 他全4日	基幹的職員研修	5
R6. 1. 23	子どもの領域におけるトラウマインフォームドケア	1
R6. 1. 24 1. 25	事務・運営管理者研修	3
R6. 1. 26	DVによる子どもへの影響時に関する研修	2
R6. 2. 2	千葉県障害者グループホーム大会	1
R6. 2. 11	学校健康教育全国大会	1
R6. 2. 14 2. 21	コモンセンスペアレンティング子育て基礎講座	11
R6. 2. 19 2. 20	全養協中堅職員研修	4
R6. 2. 22	児童相談所等関係機関研修	4
R6. 2. 22	ライフストーリーワークの実践	1
R6. 2. 24	養子と里親を考える会定例研究会	1
R6. 2. 27	児童養護施設と企業との連携による就労支援&アフターケアの実践	1
R6. 3. 8	乳幼児のためのライフストーリーセミナー	1
R6. 3. 8~3. 10	FLEC フォーラム	1
R6. 3. 8~3. 11	児童養護施設等の高機能・多機能化に向けた人材育成	1
R6. 3. 11	ユニットリーダー研修	5

2) 内部研修

日程	研修内容	人数
R5. 4. 28	ディスカッション『私の子育て観』	31
R5. 5. 16	アセスメント会議 旭ホーム	9
R5. 5. 24	アセスメント会議 柘ホーム	9
R5. 5. 26	ディスカッション 子どもの金銭預かり	32
R5. 5. 31	アセスメント会議 東棟	9
R5. 6. 2	アセスメント会議 桜ホーム	8

日程	研修内容	人数
R5. 6. 6	アセスメント会議 西棟	8
R5. 6. 8	アセスメント会議 楠ホーム	8
R5. 6. 13	アセスメント会議 椿ホーム	8
R5. 6. 30	講義 感染症について&手洗い	28
R5. 9. 29	講義 アレルギー	25
R5. 10. 27	動画視聴 社会的養護における個人情報保護	32
R5. 11. 9	アセスメント会議 楠ホーム	8
R5. 11. 15	アセスメント会議 旭ホーム	8
R5. 11. 17	アセスメント会議 柊ホーム	8
R5. 11. 24	講義 食中毒	27
R5. 11. 28	アセスメント会議 東棟	6
R5. 12. 5	アセスメント会議 柚ホーム	7
R5. 12. 11	アセスメント会議 西棟	6
R5. 12. 13	アセスメント会議 椿ホーム	8
R5. 12. 20	動画視聴 労働環境・勤務時間等	32
R6. 1. 26	講義 職員のライフプランニング	26
R6. 2. 27	講義 防災職について	25

4. 行事報告

日程	行事内容	人数
R5. 4. 2	花見（椿ホーム）	8
R5. 5. 3	大型連休外出（買い物）	5
R5. 5. 4	大型連休外出（スポーツ公園）	17
R5. 5. 4	サツマイモ苗植え	23
R5. 5. 6	バルーンアート体験	20
R5. 4～R6. 3	個別外出（柊・柚・旭・桜ホーム）	12
R5. 7. 16	サバイバルゲーム（水遊び）	29
R5. 7. 21	ダンスレッスンイベント招待	11
R5. 7. 30	野球観戦 招待	12
R5. 7. 30	施設内活動バスケット大会	17
R5. 7. 31	女兒プール外出	13
R5. 8. 1	男児プール外出	13
R5. 8. 3	退所児童交流会（サッカー）	13
R5. 8. 5	幕張ビーチ花火フェスタ 招待	50
R5. 8. 7	プログラミング体験学習	4

日程	行事内容	人数
R5. 8. 9	バーベキュー	30
R5. 8. 13	肝試し大会	65
R5. 8. 15	千葉県児童福祉施設協議会 卓球大会	16
R5. 8. 17	企業見学（株式会社 ZOZO）	15
R5. 8. 18	夕涼み会	110
R5. 8. 19	お仕事紹介イベント	32
R5. 8. 20	バーベキュー大会 招待	5
R5. 8. 26	ホーム外出（西棟）	8
R5. 8. 28	星空観察	5
R5. 8. 22～8. 23	小学生 九十九里宿泊 招待	27
R5. 8. 24	映画鑑賞	7
R5. 9. 10	ユニット外出（柚楠ホーム）	8
R5. 4～R6. 3	ホーム外出外食（椿・桜・柊・柚・旭・楠ホーム・西棟・東棟）	104
R5. 10. 7 12. 17	バスケットボール試合観戦 招待	29
R5. 10. 8	サッカー試合観戦 招待	4
R5. 10. 28	千葉県内児童福祉施設フットサル交流会	12
R5. 10. 29	専門学校イベント 参加	8
R5. 11. 4	千葉県児童福祉施設協議会 子ども文化祭	13
R5. 11. 12	子どもキラット！楽演祭 参加	11
R5. 11. 26	ウォーキング	33
R5. 10. 29	ハロウィン	57
R5. 12. 24	クリスマス会	44
R5. 12. 26～12. 27	中高生 バス宿泊旅行	29
R6. 1. 2 1. 3 1. 4	初詣（西棟・桜・柊・柚ホーム）	28
R6. 1. 20	南総サッカー大会練習	13
R6. 3. 9	南総サッカー大会	15
R6. 3. 20	乗馬体験 招待	16

5. その他報告事項

1) 施設実習受入実績

保育実習	16名
里親実習	7組

2) ボランティア受入実績

遊びボランティア	10回
空手	84回
サッカー教室	37回
金融管理個別面談	2回
畑作業、草刈り他	9回

VI. 子ども未来サポートセンターほうゆう

1. 事業実績報告

A、相談件数(個別相談・指導)

※設置運営要綱4-(1)(4)の一部等に該当

1、個別相談

(1)月別相談実人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規受理人数	43	20	30	17	18	24	24	12	18	16	23	19	264
継続相談人数	2	24	28	33	30	35	43	34	37	46	47	44	403
月別相談実人数	45	44	58	50	48	59	67	46	55	62	70	63	667

<※月別相談実人数①は相談を受け付けた方の実人数>

(2)月別相談延件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話相談	122	100	103	113	73	139	125	91	90	108	120	83	1267
来所相談	6	2	3	1	9	2	7	4	11	8	5	9	67
訪問相談	47	55	70	62	43	65	47	55	48	50	52	48	642
心理療法等	14	12	16	16	15	13	17	14	13	13	12	10	165
メール相談	0	0	0	1	1	0	3	4	3	2	2	5	21
手紙相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他()	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月別延件数	189	169	192	193	141	219	199	168	165	181	191	155	2162

<※月別相談延件数は、実際に支援を行った回数のこと>

(3)相談・指導内容の種別延件数

※(再)は再掲

養護	虐待(再掲)	保健	障害	非行	育成				いじめ	DV	その他	合計
					性格行動	不登校	適正	しつけ				
911	34	158	56	0	120	570	11	68	0	7	261	2162

<※月別相談延件数②と③と④は同数>

(4)相談経路別受付延数

県・市町村			児童福祉施設		保健所 及び医療機関	学校等	家族 親戚	近隣 知人	児童 本人	18歳以 上本人	里親 里子	その他	合計
児童 相談所	福祉 事務所	その他	保育所	その他									
173	329	116	0	129	39	225	618	0	359	161	0	13	2162

<※月別相談延件数②と③と④は同数>

B、児童相談所からの委託による指導

※設置運営要綱4-(3)に該当

< 対応延べ数 >

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
9	4	10	5	5	9	4	7	5	1	6	2	67

⑥ 実人数 2人 <※委託を受けた人数>

< 指導内容の種別 >

養護	虐待(再掲)	保健	障害	非行	育成				いじめ	その他	合計
					性格行動	不登校	適性	しつけ			
37	0	0	0	0	0	0	0	30	0	0	67

C、市町村の求めに応ずる事業

※設置運営要綱4-(2)に該当

事業名	実施回数	内容
合計	0回	⑧

D、里親等への支援（相談対応「実績報告A-1、個別相談」以外の支援・事業等）

※設置運営要綱4-(4)に該当

事業名	実施回数	内容
応援ミーティング(里親・里子)	4	
里親プチ学びの会	3	
里親啓発パネル展示	5	
やまびこプレーパーク	5	
里親家庭支援事業委員会	9	
合計	26回	⑨

E、関係機関等との連携・連絡調整

※設置運営要綱4-(5)に該当

事業名	実施回数	内容
要対協事前協議	3	
要対協実務者会	5	
要対協個別支援会議	0	
ケースカンファ	12	
連携・連絡調整	598	
応援ミーティング	1	
合計	619回	⑩

2. 事業実績報告集計表

①	相談の実人数(合計)	264人
②の内訳	電話相談件数	1267件
	来所相談件数	67件
	訪問相談件数	642件
	心理療法等の件数	165件
	メール相談の件数	21件
	手紙相談の件数	0件
	その他の相談の件数	0件
②	相談延件数(合計)	2,162件
⑥	児相からの指導委託人数	2人
⑧	市町村の求めに応ずる事業	0回
⑨	「里親等への支援」(相談対応以外の支援・事業等)の回数	26回
⑩	「関係機関等との連携・連絡調整」の回数	619回
⑪	要綱に規定された事業回数(合計)	645回
⑫	相談延件数と要綱に規定された事業回数の総合計(②+⑪)	2,807件・回
②-1	厚労省が求める訪問相談件数(実績を2倍した件数を記入)	1,284件
⑬	厚労省が求める相談延件数と事業回数の総合計 (訪問相談件数を2倍にした相談延件数と事業回数の総合計を記入)	3,449件・回

V. ほうゆうの里

1. 事業報告

感染予防の徹底によりインフルエンザ、コロナウイルス、ノロウイルスの施設でのまん延を防いでまいりましたが、令和6年2月にJユニットにてクラスターが発生。入居者並びに介護スタッフが多数感染いたしました。各専門部署の協力と連携にて約2週間で終息することが出来ました。

介護職員不足の為Iユニットへの入居様受け入れとJユニット満床という目標達成とは至らなかった。

令和5年度は介護職員だけではなく厨房職員の離職により入居者様への食事提供の継続が危ぶまれ、やむなくお弁当の提供を11月より開始致しました。2月からは淀川食品株式会社に業務委託し入居者様に従来通り安定した食事を提供しております。

外国人職員の勉強会は月間でスケジュールを作成し自主学習時間を確保して実施しております。他スタッフの協力で業務中に時間を作り計画的に自主学習に励んでおります。

[介護支援専門員]

- 1) 入居者/家族の意向を聞き取り、他職種で協働し施設サービス計画書を作成した。
- 2) 入居者の状態の把握に努め、介護保険サービスの適切な利用を支援した。
- 3) 定期的なモニタリングを実施し、入居者の状態に応じてサービス計画を見直した。
- 4) 家族への定期的な状況報告を通して、コロナ禍における家族の不安を解消するよう努めた。

[生活相談員]

- 1) 職員不足により、各委員会担当職員が全員集結しての十分な話し合いを行う事が出来なかった。
- 2) 入居者 ご家族に寄り添い話を傾聴し、落ち着いた生活をして頂けるような配慮は出来た。
- 3) 入退院の手続き、入所にあたり 医療関係とのスムーズな連絡を築く事が出来た。

[看護]

- 1) 入居者に寄り添う看護をめざしていたが、達成できていない
- 2) 他部署との連携強化は概ね達成できた

[機能訓練]

- 1) 集団体操を定期的実施することが出来なかった。

- 2) 多職種との情報交換また委員会や会議に参加出来ている。その他、スタッフや医務、CM等と適宜入居者様に関しての話が出来ていた。

[事務]

- 1) ご家族様への対応はスムーズにできた
- 2) 事務間同士での報告・連絡・相談（報連相）は、おおむねできていた

[デイサービス]

- 1) 利用する事で気分転換ができ在宅生活を継続できるように支援できた
制作やレク等の工夫をして行った事で「ああ、楽しかった」「次に来る日が楽しみ」などの声を多く聞くことが出来た。
- 2) 利用者への小さな気付き、配慮できることの大切さを普通にできる事を意識し支援することは概ね達成できた。利用者への配慮を心掛けていたが、「うっかり」の事もあった。

[居宅介護支援事業所]

- 1) 利用者様の意思や人格を尊重しながら在宅生活が継続できるようにサービス提供を行っている。
- 2) 地域包括支援センター等から新規や困難支援ケースを依頼されることも多く、感染症に留意しつつ、関係機関と連携や相談をしながら対応している。
- 3) 独居で身寄りがいない方、高齢者夫婦 2 人暮らし・認知症や精神疾患を抱えている家族等からの依頼や、昨今のケアマネ不足により近隣の居宅等からの依頼も多く、担当できない事もある等、ケアマネの置かれている立場も厳しい状況が続いている。

[AB ユニット]

職員の確保が困難で、ショートステイのユニットを再開することができなかった

[CD ユニット]

- 1) 大きな感染症等なく一年を過ごすことが出来た。
- 2) 職員のスキル及び介護への理解は少しずつではあるが着実に向上している。
- 3) コロナ過でリクリエーションの数が少なくなったが、出来る限り実施してきた。

[EF ユニット]

- 1) ユニットケアの統一は全体的にはまだまだだが、少しずつ連絡、報告が出来て、情報の共有に繋がってきている
- 2) 入居者とのコミュニケーションをとる事は出来ている職員と、そうでない職員の差がありますが良くなっている

[GH ユニット]

- 1) 急変対応、救急搬送対応のスキルは職員によって差が有る。心肺蘇生法未経験の職員がいる為本年度研修を行いたい。
- 2) コロナ及びインフルエンザ等職員に発症あるも、ユニット内感染蔓延すること無く過ごす事が出来た。今後も感染予防に注意し業務にあたる。

[I ユニット]

職員の確保が困難で、ユニットを再開することができなかった

[J ユニット]多床室

- 1) 健康管理と感染予防
体調不良の早期発見、対応により入居者への感染はなかった。引き続き感染予防に努める。
- 2) 職員のスキルアップ
業務中の指導と施設内研修を行うことにより知識と技術の向上がはかれた。職員の学びたいという意識の変化もあるため、今後も研修会の開催を望む。

2. 施設利用状況実績報告

1) 特別養護老人ホーム

	定員70	延べ 人数	稼働率	平均 年齢	平均要 介護度
4月	2,100	1,579	75.2%	87.43	3.9
5月	2,170	1,646	75.9%	87.47	3.8
6月	2,100	1,639	78.0%	87.60	3.8
7月	2,170	1,702	78.4%	87.68	3.8
8月	2,170	1,673	77.1%	87.76	3.9
9月	2,100	1,554	74.0%	87.81	3.9
10月	2,170	1,547	71.3%	87.46	3.9
11月	2,100	1,483	70.6%	87.70	3.9
12月	2,170	1,605	74.0%	87.79	3.8
1月	2,170	1,612	74.3%	87.88	3.8
2月	2,030	1,452	71.5%	87.96	3.9
3月	2,170	1,509	69.5%	88.09	3.9
合計	25,620	19,001	74.2%	1052.63	46.30
平均	2,135	1,583	74.2%	87.72	3.9

2) 従来型

	定員30	延べ 人数	稼働率	平均 年齢	平均要 介護度
4月	900	720	80.0%	82.87	4.2
5月	930	723	77.7%	82.95	4.2
6月	900	682	75.8%	83.03	4.1
7月	930	682	73.3%	83.16	4.1
8月	930	682	73.3%	83.24	4.1
9月	900	660	73.3%	83.33	4.1
10月	930	700	75.3%	83.43	4.1
11月	900	690	76.7%	83.52	4.1
12月	930	676	72.7%	83.6	4.1
1月	930	637	68.5%	82.94	4.0
2月	870	580	66.7%	83.68	4.0
3月	930	590	63.4%	83.77	4.0
合計	10,980	8,022	73.1%	999.52	49.1
平均	915	669	73.1%	83.29	4.1

3) ショートステイ

	定員20	延べ 人数	稼働率	平均 年齢	平均要 介護度
4月	600		0.0%		
5月	620		0.0%		
6月	600		0.0%		
7月	620		0.0%		
8月	620		0.0%		
9月	600	5	0.8%	88.92	5.0
10月	620		0.0%		
11月	600		0.0%		
12月	620		0.0%		
1月	620		0.0%		
2月	580		0.0%		
3月	620		0.0%		
合計	7,320	5	0.1%	88.92	5.0
平均	610	5	0.8%	88.92	5.0

4) デイサービス

	定員10	延べ 人数	稼働率	平均 年齢	平均要 介護度
4月	260	142	54.6%	86.43	2.6
5月	270	147	54.4%	86.512	2.7
6月	260	117	45.0%	85.92	2.7
7月	260	124	47.7%	85.39	2.8
8月	270	113	41.9%	85.94	2.5
9月	260	103	39.6%	85.94	2.5
10月	260	110	42.3%	85.17	2.2
11月	260	120	46.2%	85.25	2.2
12月	240	113	47.1%	85.23	1.9
1月	240	105	43.8%	85.59	2.1
2月	250	100	40.0%	85.67	2.2
3月	260	85	32.7%	85.76	2.2
合計	3,090	1,379	44.6%	1,029	28.6
平均	258	115	44.6%	85.73	2.4

3. 研修報告

1) 外部研修

日程	研修内容	参加人数
R5. 6. 14	ケアマネージャー 地域の民生委員との連携	2
R5. 6. 23	やちよケアマネ・ネットワーク令和5年度第1回研修会	2
R5. 7. 28	生活相談員/施設ケアマネージャー情報交換会（オンライン）	1
R5. 2. 27～4. 27	介護支援専門員更新研修（オンライン研修）	1
R5. 9月 21. 10. 5. 11. 14	ユニットケア施設長管理者研修	1
R5. 10. 3～5	R5年度千葉県ユニットリーダー研修（オンライン）	1
R6. 1. 15, 16, 17	R5年度千葉県ユニットリーダー研修（実地研修）	
R5. 9. 27	R5年度新規採用職員合同研修	2
R5. 11. 15	R5年度やちよケアマネ・ネットワーク研修会	1
R5. 12. 14	生活相談員スキルアップ研修	2
R5. 12. 30	仕事をしながら介護する方たちをケアマネージャーとして支援しよう	2
R5. 12. 14, 15	R5年度日本ユニットケアリーダー研修	1
R6. 2. 6	看護師の為のユニットケア研修	1

2) 内部研修

日程	研修内容	参加人数
R5. 3. 22	事故防止（誤嚥・酸素ボンベの取り扱い）	8
R5. 4. 26	オムツ講習	10
R5. 10. 19	感染症研修（インフル・疥癬）	18
R5. 11. 22. 24	事故防止（誤嚥対処方法）	24
R5. 11. 31	高齢者虐待・身体拘束研修（各ユニットにて）	31

4. 行事報告

日程	行事内容
5月	5月人形
7月	七夕
9月	敬老会
1月	里神社
2月	節分
3月	お雛様

5. その他報告事項

1) 広報誌発行実績

ほうゆうの里だより

月1回発行

VI. ほうゆうベビーホーム

1. 事業報告

令和5年5月に新型コロナウイルスが5類に移行され世の中が徐々に正常化していく中、当院でも以前の生活に戻れると期待が膨らみましたが、実際は職員不足に苦慮し同時に児の入所もコロナ禍から引き続き減少が続く1年となりました。こうした状況下は、今後の乳児院の在り方について考える時期であることを強く感じました。

まず、今年度職員の少ないことを好機と捉え、職員間の養育の見直しや考え方の統一を図るべく話し合いや園内研修を多く取り入れました。その結果、子どもの権利を大切にするためにベビーでの養育は「1, 褒めて育てる」「2, 否定的ことばは使わない」「3, 気持ちに寄り添う」ことに重点を置いた養育を目指し、職員の養育技術の向上に努めました。

同時に予定していた小規模グループケアの新築工事に向け建設会社と本格的に打ち合わせが始動し、同時に院内でも「小規模グループケア計画チーム」を発足しスムーズな移行に向け、ユニット編成・生活の流れ・書類等の変更様式等話し合いを進めています。職員ひとり一人は小規模での生活のイメージが湧かず不安な声もありましたが、徐々に意欲的な発言も増えるようになりました。

また、今後の乳児院の在り方としては、高機能化・多機能化を進めていきたいと考えます。それに伴い職員の増員は必須となります。

人材確保の取組として、5.7.9月に同法人内で行っていた就職説明会に参加し当院について理解を深める機会をとったり、各種の就職説明会に参加し学生や児童福祉に興味がある方へ乳児院の仕事のやりがいについて発信したり、求人サイトを利用した募集を募った結果、5年度には35名の応募があり12名が面接まで通過しました。

又、実習生にも小規模グループケアに移行することで子どもに与える良い影響やこれからの乳児院として高機能多機能化の必要性について説明し乳児院について理解を深める指導と乳児院の役割、大切さを伝え乳児院について理解・興味・関心を寄せられるよう配慮しました。

なお、令和5年度は第三者評価の受審の年でした。当院に配置している第三者評価係が中心となり受審しました。施設内で第三者評価係が存在し改善点を見出して改善にあたっていることや養育の発展的な見直し、資質向上を図る為の努力に対し良い評価を頂けることは励みになります。又改善が望まれる点について示されたことには真摯に受け止め子どもたちがより安心・安全に暮らせる養育を今後も進めていきます。

2. 施設利用状況報告

1) 措置入所・一時保護委託

定員：29名

	措置入所		一時保護		合計	
	月初	延べ	月初	延べ	月初	延べ
4月	16	502	7	257	23	759
5月	16	446	9	280	25	726
6月	14	417	9	252	23	669
7月	13	396	7	188	20	584
8月	12	372	6	199	18	571
9月	13	372	5	145	18	517
10月	11	341	4	124	15	465
11月	12	360	3	90	15	450
12月	11	367	3	37	14	404
1月	12	357	2	67	14	424
2月	11	355	4	102	15	457
3月	13	413	4	145	17	558
	154	4,698	63	1,886	217	6,584

2) 入退所の状況

入所理由	人数	退所理由	人数
養育困難	4	家庭復帰	3
ネグレクト	2	措置変更	5
		里親委託	4
合計	6	合計	12

3) 子育て短期支援事業

ショートステイ利用延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
鎌ヶ谷市									2				2
佐倉市								1		1			2
印西市											1		1
合計	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	1	0	5

3. 研修報告

1) 外部研修

日程	研修内容	参加人数
R5. 6. 16	第 57 回関東ブロック乳児院研究協議会	1
R5. 11. 28	第 40 回関東ブロック乳児院協議会職員研修会	1
R6. 3. 11	令和 5 年度千葉県基幹的職員研修及びユニットリーダー研修	1
R6. 1. 31	保育士特定登録取消者管理システム説明会	1

2) 内部研修

日程	研修内容	人数
R5. 4. 10	パニックを起こした時の対応・痙攣を起こした時の対応	18
R5. 5. 8	しつけと体罰の違い・体罰によらない子育ての工夫	17
R5. 5. 24	頭打ちの対応について	17
R5. 7. 10	より適切な関りのために	12
R5. 7. 24	食事介助について	11
R5. 8. 7	寝かしつけについてⅠ トントンの仕方	13
R5. 9. 4	寝かしつけについてⅡ おひなまきについて	14
R5. 9. 19	寝かしつけについてⅢ、高月齢時のテンション高い時	15
R5. 10. 10	措置入所と一時保護委託について	12
R5. 11. 20	養育について。理想の養育者	11
R6. 2. 5	クラス活動について	13
R6. 3. 25	救命救急	7

4. 行事報告

日程	行事内容	参加人数
R4. 5. 5	端午の節句	全入所児
R4. 7. 7	七夕	全入所児
R4. 8. 5	夏祭り	全入所児
R4. 8. 23	花火	全入所児
R4. 10. 19	運動会	17
R4. 10. 31	ハロウィン	全入所児
R4. 12. 23	クリスマス会	全入所児
R5. 1. 1	お正月	全入所児
R5. 1. 19. 27	初詣	4
R5. 2. 3	節分	全入所児
R5. 3. 3	桃の節句	全入所児
R5. 3. 20. 22.	お花見	5

5. その他報告事項

1) 施設実習受入実績

保育実習	7件
里親実習	0件

2) ボランティア実績

ヘアカット	2件
-------	----

IV. 子ども未来サポートセンターやちよ

1. 事業実績報告

A、相談件数(個別相談・指導)

※設置運営要綱4-(1)(4)の一部等に該当

1、個別相談

(1)月別相談実人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規受入人数	26	13	8	7	4	8	1	0	1	2	3	2	75
継続相談人数	0	12	18	22	24	16	17	16	15	19	16	21	196
月別相談実人数	26	25	26	29	28	24	18	16	16	21	19	23	271

<※月別相談実人数①は相談を受け付けた方の実人数>

(2)月別相談延件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話相談	36	45	69	58	44	59	36	38	41	30	32	41	529
来所相談	1	0	2	0	0	1	1	0	0	0	2	0	7
訪問相談	16	15	13	20	21	16	11	10	8	13	10	18	171
心理療法等	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
メール相談	2	3	0	1	3	0	2	1	0	0	1	0	13
手紙相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他()	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月別延件数	55	63	85	80	68	76	50	49	49	43	45	59	722

<※月別相談延件数は、実際に支援を行った回数のこと>

(3)相談・指導内容の種別延件数

※(再)は再掲

養護 虐待(再掲)	保健	障害	非行	育成				いじめ	DV	その他	合計	
				性格行動	不登校	適正	しつけ					
56	28	54	23	0	17	17	10	247	0	0	298	722

<※月別相談延件数②と③と④は同数>

(4)相談経路別受付延数

県・市町村			児童福祉施設		保健所 及び医 療機関	学校等	家族 親戚	近隣 知人	児童 本人	18歳以 上本人	里親 里子	その他	合計
児童 相談所	福祉 事務所	その他	保育所	その他									
162	26	0	0	1	2	0	184	1	3	250	92	1	722

<※月別相談延件数②と③と④は同数>

B、児童相談所からの委託による指導

※設置運営要綱4-(3)に該当

< 対応延べ数 >

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑥ 実人数									0人		<※委託を受けた人数>	

< 指導内容の種別 >

養護 虐待(再掲)	保健	障害	非行	育成				いじめ	その他	合計
				性格行動	不登校	適性	しつけ			
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

C、市町村の求めに応ずる事業

※設置運営要綱4-(2)に該当

事業名	実施回数	内容
合計	0回	⑧

D、里親等への支援（相談対応「実績報告A-1、個別相談」以外の支援・事業等）

※設置運営要綱4-(4)に該当

事業名	実施回数	内容
応援ミーティング(里親・里子)	2	情報共有と支援の検討会
里親支援機関等連絡会議	12	里親支援における情報共有など
里親認定登録通知書交付式	1	参加及びセンター紹介
合計	15回	⑨

E、関係機関等との連携・連絡調整

※設置運営要綱4-(5)に該当

事業名	実施回数	内容
要対協実務者会議	13	関係機関との連携 要保護児童等の報告と検討
連携・連絡調整	32	関係機関との情報共有や支援の検討
合計	45回	⑩

2. 事業実績報告集計表

①	相談の実人数(合計)	75人
②の内訳	電話相談件数	529件
	来所相談件数	7件
	訪問相談件数	171件
	心理療法等の件数	2件
	メール相談の件数	13件
	手紙相談の件数	0件
	その他の相談の件数	0件
②	相談延件数(合計)	722件
⑥	児相からの指導委託人数	0人
⑧	市町村の求めに応ずる事業	0回
⑨	「里親等への支援」(相談対応以外の支援・事業等)の回数	15回
⑩	「関係機関等との連携・連絡調整」の回数	45回
⑪	要綱に規定された事業回数(合計)	60回
⑫	相談延件数と要綱に規定された事業回数の総合計(②+⑪)	782件・回
⑫-1	厚労省が求める訪問相談件数(実績を2倍した件数を記入)	342件
⑬	厚労省が求める相談延件数と事業回数の総合計 (訪問相談件数を2倍にした相談延件数と事業回数の総合計を記入)	953件・回

VIII. ゆうゆう保育園

1. 事業報告

当保育園は定員 90 名の認可保育園として、平成 23 年度に開設され、乳幼児の保育にあたってきました。

地域における保育ニーズは高く、当保育園への入園希望も多い状況を踏まえ、定員を超えた園児の受け入れに努め、令和 5 年度においても、地域の状況等を考慮し、引き続き、それを基本に入園児の受け入れに努めました。

13 年目を迎えた昨年度は、これまでの取り組み実績の上にさらに充実した保育を行い、子どもたちが元気に安心して生活できるよう、保育環境の向上に取り組みつつ、きめ細かい養護及び教育に努めていきました。

また、地域における子育て援助、支援のセンターとして、期待される役割を果たすため、引き続き一時保育事業、地域支援センター事業を行いました。

そして、保育士不足が問題になっている中、積極的に実習生を受け入れ、令和 5 年度においては、8 名が当保育園で実習を行いました。

令和 5 年度 4 月に保育士 1 名、パート補助員（12 月に支援員となる）1 名が入職しました。又、1 月にパート支援員 1 名が入職しました。そして 3 月に正規職員 2 名が退職し、正規職員 1 名が産休に入りました。

支援センター事業は、感染症対策として、利用親子の人数を 5 組に制限をして実施しました。

一時保育は、令和 5 年 2 月まで実施し、3 月からは、退職者の有休消化と、正規職員が産休に入った為、休止しました。

令和 5 年 5 月 8 日より、新型コロナウイルス感染症が「5 類感染症」に移行したため、保育園行事の保護者参加人数を増やしました。

日々、保育園内消毒、玩具消毒は今までどおり実施し、当保育園関係者のマスク着用は本人の意思によるものとしました。

当保育園の改修工事として、園舎 1F 保育室の壁の塗り直しや、ランチルーム入口扉の取り換えを行いました。

2. 施設利用状況実績報告

1) 年齢別クラス内訳

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
定員	6	12	18	18	18	18	90
4月	6	12	13	20	20	20	91
5月	6	12	13	20	20	20	91
6月	6	12	13	20	20	20	91
7月	6	12	13	20	20	20	91
8月	6	12	13	20	20	20	91
9月	6	12	13	20	20	20	91
10月	6	12	13	20	20	20	91
11月	6	12	13	20	20	20	91
12月	6	12	13	20	20	20	91
1月	6	12	13	20	20	20	91
2月	6	12	13	20	20	20	91
3月	6	12	12	20	20	20	91
平均	6	12	13	20	20	20	91

2) 時間外保育・一時保育・親子クラブ

	時間外保育		一時 保育	親子クラブ		
	標準	短時間		児童	保護者	合計
4月	33	1	16	27	25	52
5月	37	3	21	26	23	49
6月	37	2	17	31	30	61
7月	37	3	29	23	21	44
8月	33	4	23	22	20	42
9月	38	3	18	27	25	52
10月	36	4	24	18	15	33
11月	38	4	26	29	27	56
12月	38	5	26	25	21	46
1月	38	4	19	39	37	76
2月	36	7	28	37	36	73
3月	44	9	0	40	31	71
合計	445	49	247	344	311	655

3. 研修報告

1) 外部研修

日程	研修内容	参加人数
R5. 4. 3	発熱・下痢・嘔吐・発疹等の対応	全職員
R5. 5. 16	熱中症予防対策	全職員
R5. 5. 29	市内保育所全園会議	2名
R5. 6. 16	四街道保育園公開保育	2名
R5. 6. 19	支援センター事例報告会	1名
R5. 7. 7	大日保育園公開保育	2名
R5. 7. 26	幼保小連携教育研修会	1名
R5. 8. 1	虐待防止・発生時対応	全職員
R5. 8. 1	プライベートゾーンの対応	全職員
R5. 8. 24	特別支援教育研修会	1名
R5. 8. 30	ゆうゆう保育園公開保育	9名
R5. 10. 25	市内保育所全園会議	2名
R5. 10. 28	自閉症研修	2名
R5. 11. 8	親子支援勉強会・子育て支援連絡会	1名
R5. 11. 21	大日保育園公開保育	3名

2) 内部研修

日程	研修内容	人数（対象）
毎月	職員会議	全職員
	給食会議	7名
	リーダー会議	4名
	フロアー会議 未満児・以上児	全職員
	パート会議	パート職員

4. 行事報告

日程	行事内容	参加人数
毎月	誕生会・避難訓練・身体測定	各クラス
〃	お話し会・体操教室・リトミック教室	以上児・2歳児
R5. 4. 15	入園進級の会・交流会	全園児・保護者
R5. 5. 19	歩き遠足	以上児・2歳児
R5. 6. 5～7. 14	保育参加・試食会	全園児・保護者
R5. 6. 14	内科健診	全園児
R5. 6. 15	歯科検診	〃

日程	行事内容	参加人数
R5. 6. 16	個人面談	保護者
R5. 6. 27	交通安全教室	4. 5 歳児
R5. 7. 7	七夕会	全園児
R5. 7. 18	水遊び開始	〃
R5. 7. 27	泥遊び	以上児
R5. 8. 5	夏祭り	全園児・保護者
R5. 8. 30	ボディーペインティング	以上児
R5. 10. 7	運動会	全園児・保護者
R5. 10. 20	歩き遠足	以上児・2 歳児
R5. 11. 2	消防署見学	以上児
R5. 11. 8	内科健診	全園児
R5. 12. 2	お楽しみ会	〃
R5. 12. 19	餅つき会	〃
R5. 12. 20	チーバ君来園	〃
R5. 12. 25	クリスマス会	〃
R6. 1. 11	新年会	〃
R6. 1. 18、2. 8	書初め	5 歳児
R6. 2. 1	節分会	全園児
R6. 2. 13～16	個人面談	保護者
R6. 2. 15	劇団影法師「手袋を買いこ」	全園児
R6. 3. 1	ひな祭り	〃
R6. 3. 2	入園説明会	R6 入園保護者
R6. 3. 9	卒園式	5 歳児・保護者
R6. 3. 14	お別れ会	全園児
R6. 3. 15	卒園遠足	5 歳児

5. その他報告事項

1) 施設実習受入実績

保育実習	8 名
------	-----

2) 広報誌発行実績

園だより	月 1 回発行
------	---------

Ⅸ. ゆうゆう苑

1. 事業報告

令和5年度は、コロナ対策の継続と職員の退職に伴うユニットの閉鎖が4つまで増え、また、千葉市からの身体拘束、虐待通報があり、法律で決められていた委員会等が未実施であった為、介護保険減算対象のペナルティを課せられる事態になりました。

感染対策については、4月からコロナウイルス感染症5類に移行されましたが、対応方法は変更せずに基本的感染対策や面会制限を継続して行っています。インフルエンザと同じ扱いになったとはいえ、感染者が職員と利用者に出現したことがありました。まだまだ周りの施設でも感染者が出たりしている状況から、面会制限をどの時点で解除するかは、今後の状況をみて検討していきます。

委員会、研修については、指導部長に1月より入職していただき、法律にのっとった形に変更し実施している最中です。

職員の確保については、ハローワーク、ジョブメドレー、地域新聞などへの掲載、カイテク（日雇い派遣）、紹介会社、職員からの紹介など、あらゆる募集活動に取り組みましたが新しい退職者が出てしまい、厳しい状況が続いています。

入居申し込みについても、新しい特養などの施設がオープンしたりと入居申し込み自体が減少してきています。

この様な状況の中でも、新しい職員や外国人スタッフが奮闘してくれ、最低限のレクリエーションや行事は実施しています。

本来行わなければいけなかった委員会や研修などの完全開催、特養80床を1日も早く満床にし、ショートステイ20床を開所できるようにしていきます。また、満床に向け選ばれる施設づくりをしていく所存でございます。

[特別養護老人ホーム]

職員不足で閉鎖している2ユニットを再開することが出来なかった。また、実施機関に虐待に関する通報が寄せられ、マニュアルに沿って事実確認や再発防止策等を実施機関に報告した。その中で、全職員対象として外部講師による虐待防止研修や無資格者に対してeラーニングによる認知症基礎研修の受講をおこなった。

また、介護保険法で義務化されている委員会開催が不十分であったので、年度後半に実施計画を策定して改善を図った。

[短期入所生活介護]

令和5年度当初から介護職の不足があり、短期入所生活介護利用を一時休止することとなった。年度中には、短期入所生活介護受入れユニット職員の体制が整うことが出来ず受入れが出来ない状況にある。

[共生型 通所サービス]

レセプト実績数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
高齢者	11	13	14	13	14	12	13	14	16	16	12	16
放デイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

利用中止者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
高齢者	1	1	1	1	0	2	1	0	0	3	1	0
放デイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※サービスが確実に終了した月に入力

「放課後等デイサービス」「児童発達支援」「生活介護」の3つの事業については配置基準を満たさないため休止

利用実績が減少している原因

- ・ 一つに新規利用者が少ない
- ・ 中止の理由は施設入所や入院がほとんどで1名「元気になった」という理由でした。

コロナウイルス5類に移行して、通常の「楽しいデイサービス」を目標に1年間営業を行ってきましたが、利用者の増員に至りませんでした。今までの営業を続けるほか、半日型や、リハビリの再開など利用者を増やせる方法を模索していきます。

[医務]

昨年9月インフルエンザ感染、10月新型コロナウイルス感染者が出たが「5類感染症」となり、感染者の部屋に入室する際、ガウンテクニックを実施した事により感染拡大が防止できた。

昨年度は新型コロナウイルス感染者が多かった為、入所者様の健康診断を一時中止したが今年度は11月に実施した。

又、新型コロナワクチン接種の実施、入所者様の体調不良の際は早急な受診で対応していた。

2. 施設利用状況実績報告

1) 特別養護老人ホーム

	定員80	延べ 人数	稼働率	入院者 除く	稼働率	入院 日数	入院 比率	平均要 介護度	平均 年齢
4月	2,400	1,800	75.00%	1692	70.50%	108	6.00%	3.8	86.1
5月	2,480	1,849	74.56%	1698	68.47%	151	8.17%	3.9	86.4
6月	2,400	1,765	73.54%	1667	69.46%	98	5.55%	3.9	86
7月	2,480	1,771	71.41%	1714	69.11%	57	3.22%	3.9	86.1
8月	2,480	1,723	69.48%	1684	67.90%	39	2.26%	3.9	86.2
9月	2,400	1,655	68.96%	1060	44.17%	595	35.95%	4.0	86.2
10月	2,480	1,628	65.65%	1579	63.67%	49	3.01%	4.0	86.3
11月	2,400	1,554	64.75%	1485	61.88%	69	4.44%	4.0	86.1
12月	2,480	1,612	65.00%	1524	61.45%	88	5.46%	4.0	86.2
1月	2,480	1,611	64.96%	1582	63.79%	29	1.80%	4.0	86.5
2月	2,320	1,490	64.22%	1464	63.10%	26	1.74%	4.0	86.6
3月	2,480	1,607	64.80%	1556	62.74%	51	3.17%	4.0	86.7
合計	29,280	20,065	822.32%	18705	766.24%	1,360	80.78%	47.4	1035.4
平均	2,440	1,672	68.53%	1559	63.85%	113	6.73%	4.0	86

2) ショートステイ

	定員20	延べ 人数	稼働率	平均 年齢	平均要 介護度
4月	600	234	39.00%	90.4	3.8
5月	620	45	7.26%	94.3	3.8
6月	600	40	6.67%	92.2	4
7月	620	42	6.77%	96.9	3.8
8月	620	35	5.65%	92.4	4
9月	600	24	4.00%	96.1	4
10月	620	25	4.03%	97	4
11月	600	2	0.33%	97.1	4
12月	620	31	5.00%	97.2	4
1月	620	25	4.03%	97.3	4
2月	580	21	3.62%	97.4	4
3月	620	21	3.39%	97.5	4
合計	7,320	545	89.75%	1145.8	47.4
平均	610	45	7.48%	95.48	3.95

3) 共生型デイサービス

	定員15	延べ 人数	再掲 障害児	稼働率	平均要 介護度
4月	375	98	0	26.13%	2.9
5月	405	122	0	30.12%	2.9
6月	390	123	0	31.54%	2.9
7月	390	103	0	26.41%	2.9
8月	405	79	0	19.51%	3
9月	390	99	0	25.38%	2.8
10月	390	114	0	29.23%	2.7
11月	390	125	0	32.05%	2.8
12月	375	145	0	38.67%	2.8
1月	360	149	0	41.39%	2.6
2月	360	118	0	32.78%	2.8
3月	390	131	0	33.59%	2.6
合計	4,620	1,406	0	30.4%	33.7
平均	385	117	0	30.4%	2.8

3. 研修報告

日程	研修内容	参加人数
R5. 4～R6. 3	虐待防止研修 メディパスアカデミー介護 ēラーニング	介護職
	身体拘束廃止 メディパスアカデミー介護 ēラーニング	
	認知症研修 メディパスアカデミー介護 ēラーニング	
	介護技術向上 メディパスアカデミー介護 ēラーニング	
	事故防止研修	
R6. 1. 30	虐待、身体拘束（外部講師による）	全職員
R6. 2. 7	虐待、身体拘束（外部講師による）	〃
R6. 2. 22	救命救急講習	全職員
R6. 3. 21	救命救急講習	〃
R5. 12. 13	消火訓練	〃
R6. 3. 30	避難訓練	〃

4. 行事報告

日程	行事内容
4月	誕生日会 花見会苑庭／ユニット内
5月	こいのぼり作成 飾り
6月	誕生日会 懐かしのビデオ鑑賞
7月	誕生日会 夏祭り ユニット内で実施
8月	誕生日会 夏祭り ユニット内で実施
9月	誕生日会 敬老会ユニット フロアー
10月	誕生日会 ハロウィン
11月	誕生日会 懐かしのビデオ鑑賞
12月	誕生日会 クリスマス会 フロアー・ユニット飾り
1月	誕生日会 おせち料理
2月	誕生日会 節分 豆まき
3月	誕生日会

5. その他報告事項

- 1) 施設実習等受入実績

--	--

- 2) ボランティア実績

ヘアカット	2 ヶ月 1 回
-------	----------

X. ゆめ

1. 事業報告

令和5年9月に新規開設をしました。法人関連施設、医療機関、居宅介護支援事業所への周知活動を行い、新規依頼は月平均2~3件となっています。

スタッフの定着、運営の安定化を目指し、ICTを活用しながら、事業所運営の確立と業務負担の軽減、効率化を行って来ました。

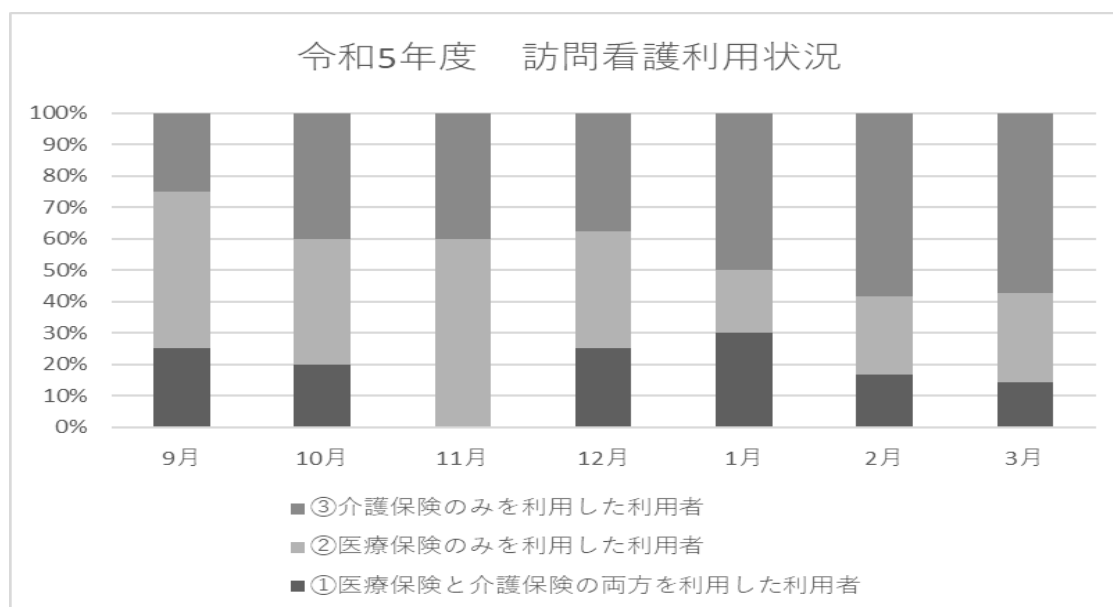
新規の利用者様には、必要とされる看護や医療・介護の情報提供を実施し、安心して在宅療養ができる環境作りをして来ました。医療機関やケアマネージャーへの情報提供を的確に行い、信頼を積み重ね、当ステーションを知っていただく機会を増やせるよう努めています。

限られたスタッフの中でも24時間対応や休日の対応も継続することができ、安定した看護の提供をすることが出来ました。

ステーション開設から間もないため、利用者数や訪問件数も少なく、スタッフの経験値を増やすことが難しく、看護知識や技術に差が生じています。定期的な研修の参加や、症例検討を行い、全スタッフが質の高い看護を提供できるよう努めています。

2. 利用実績報告

新規依頼は断らず、必ず受けるようにしています。利用者様がが増えても、ターミナル期や緊急時対応の有無に影響され、利用者様や訪問回数の増減がありました。



3. 研修報告

1) 外部研修

開催月	研修内容	参加人数
11月	がん患者の症状マネジメント（オンライン）	2名
	薬剤研修	3名
12月	癌性疼痛のマネジメント（オンライン）	1名
1月	地域緩和ケア研修会	1名
2月	認知症対応力向上研修（オンライン）	3名
3月	高齢者のパーキンソン病診療	1名

2) 内部研修

開催月	研修内容	参加人数
9月	訪問看護について	4名
10月	虐待防止	4名
11月	感染症	4名
12月	ターミナル看護	4名
1月	カテーテル管理	4名
2月	褥瘡	4名
3月	災害時対応	3名